

実施日：11月9日 ・ 12月3日	
領 域：①教科（国語科）	
取組名：物語を読んで、登場人物の心情を想像しよう ・ せつめいする 文しょうを かこう	
対 象：4年生 ・ 1年生	実施場所：教室
ア ねらい 「できる」「わかる」授業により、学力と自己有能感の伸長をはかる。（教科のねらいは別紙①参照）	
イ 指導内容（指導略案）や取組の概要 教師の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎時間「めあて」をもって学習に取り組み、「振り返り」の時間をもつ。 ・ 写真や動画、具体物を効果的に活用し、「わかる」授業を展開する。 ・ 評価規準を明示し、児童に明確なゴールを示す。 児童の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「めあて」をクラスで共有し、自分の考えを明確にしながら学習に取り組む。 ・ 評価規準を確認したうえで、学習のまとめの活動を行う。 ・ 単元の振り返りをクラス全体で共有する。 ※詳細は別紙①を参照	
ウ 連携先：家庭	
エ 連携にむけての取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業参観でも、普段の授業と同じ授業展開をすることで保護者にも学び方を知ってもらう。 ・ 保護者へ子ども達が学びの視点を意識しながら家庭でも学習するよう、声かけをお願いした。 	
オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点 <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究部会を中心に、尼崎市版授業改善の視点に基づき①授業の目標を明確に持っている。⑤クラスの全員が学習課題を共有している。⑦学習を振り返る時間を確保している。の3点を日々の授業で徹底している。 ・ 2学期末に行われるあまっこステップアップ調査における学習状況の項目から結果を考察する。 	
カ 評価の方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業に取り組む姿勢 ・ あまっこステップアップの調査結果 	
キ 成果 <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究部会を中心に、授業交流において、「わかる」「できる」授業づくりの大切さを全教員で共有することができた。授業づくりに対する姿勢が変わった教員も多く見られた。 ・ 前向きな気持ちで授業に取り組む児童が増え、メリハリと活気が出始めている。 	
ク 課題 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校全体で「わかる」「できる」授業づくりについての取組を情報共有していくことが必要である。 ・ 児童の見た感じや受ける印象だけではなく、あまっこステップアップ調査の結果を見て、児童一人ひとりの学習状況を見とっていく必要がある。 	